

科目名		日本語 (Japanese)							
学年	学科(コース)	単位数		必修 / 選択	授業形態	開講時期	総時間数		
第3学年	機械工学科 物質工学科	履修	2 単位	—	講義	通年	60 時間		
担当教員		[非常勤]大崎 祥子							
学習到達目標									
科目の到達目標レベル	日本語の習熟度を高め、講義の内容理解・日本人との交流の円滑化を図る。日本文化理解の科書以外のメディア・プロジェクトを活用して実用的な日本語を習得させる。 1.論理的な文章の読み書きができる 2.講義・テレビニュースの内容が理解できる 3自分の考えが表現できる								
到達目標 (評価項目)	優れた到達レベルの目安	良好な到達レベルの目安	最低限の到達レベルの目安	未到達レベルの目安					
到達目標 ①	辞書を使わずに、論理的な文章の読み書きができる	時間をかければ、論理的な文章の読み書きができる	辞書を使ったり、時間をかけたりすれば、論理的な文章の読み書きができる	論理的な文章の読み書きができない					
到達目標 ②	4/5以上の講義・テレビニュースの内容を説明できる	3/4程度の講義・テレビニュースの内容を説明できる	2/3程度の講義・テレビニュースの内容を説明できる	講義・テレビニュースの内容を説明できない					
到達目標 ③	自分の考えを容易に表現できる	自分の考えが表現できる	短い文章をつなぎ合わせれば、自分の考えが表現できる	自分の考えが表現できない					
学習・教育目標	(A)	JABEE基準1(2)							
達成度評価 (%)									
評価方法 指標と評価割合	中間試験	期末・学年末試験	小テスト	レポート	口頭発表	成果品	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	20	50		20	10				100
知識の基本的な理解 【知識・記憶、理解レベル】	◎	◎							
思考・推論・創造への適用力 【適用、分析レベル】	○	○		◎					
汎用的技能 【情報収集・活用・発信力】					◎				
態度・志向性(人間力) 【 】					○				
総合的な学習経験と創造的思考力 【 】				○					

関連科目，教科書および補助教材

関連科目	日本事情
教科書	留学生の日本語 読解編・作文編(アルク)
補助教材等	プリント(新聞・雑誌・図書の記事・演習問題等)

学習上の留意点

日本語能力の4分野での調和的運用を目指している。特に専門分野での勉学・研究に不可欠な論理的思考による理解・表現能力を身につけるため、課題となる資料の予習・スピーチの準備をすること。復習は主に、課題に沿ったレポートを課すので提出を厳守すること。

担当教員からのメッセージ

心を開いて日本語でコミュニケーションすることが何より大切です。、自分の考え、意見をはっきり表現し、人の意見に耳を傾け、文を読み、生きて使える日本語の習得に取り組んでほしい。

授業の明細

回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	百聞は一見にしかずプロジェクト1 常盤公園を訪ねる	宇部の歴史を知る 山口・宇部の方言を知り話することができる	宇部を紹介するレポートを書く
2	作文1 作文の表記・文体	原稿用紙に文字、記号、句読点が正しく書ける 文体:「だ・である」体で文が書ける	「私の専門」のテーマでレポートを書く
3	漢字の話 漢字の組み立て	漢字の組み立てルールを理解する 漢字を分析的に読むことができる	プリントで復習 宇部興産について資料を読む
4	百聞は一見にしかずプロジェクト2 UBE1プラザを訪ねる	起業家 渡部祐策の志を知るー有限の石炭から無限の工業へ	「宇部興産見学」のテーマでレポートを書く
5	説明文を読む1 「言葉の役割」	段落の構成を理解する 中心文と指示文の区別がわかる	三段落構成・中心文と指示文を考えてレポートを書く
6	作文2 作文の文法 助詞	助詞の正しい使い方ができる 「は」と「が」の使い分けができる	プリントで復習
7	説明文を読む2 「イルカと超音波」	書き言葉で「連用中止形」を使うことができる 中心文と指示文を使って文章を書くことができる	「わが国の有名人」のテーマでレポートを書く
8	作文3 作文の文法 助詞	助詞の正しい使い方ができる 「で」と「を」・「を」と「に」・「を」と「が」を使い分けすることができる	プリントで復習
9	中間試験		
10	説明文を読む3 「地図の分類」	文章のアウトライン表を作ることができる 文の主語・述語・修飾語がわかる 名詞句が理解できる	プリントで復習
11	スピーチの達人	スピーチのルールを理解する スピーチ原稿の書き方を理解する	スピーチ原稿を書く スピーチの練習をする
12	説明文を読む4 「睡眠時間ー長眠と短眠」	定義表現を理解する	定義表現を使ったスピーチを準備する
13	作文4 作文の文法 定義する	「の」や「こと」を使って言葉の定義ができる 強調構文を作ることができる	「ごみリサイクル」のテーマでレポートを書く
14	説明文を読む5 「日時計」	経過表現ができる 助詞相当語句を正しく使うことができる	プリントで復習
前期末試験			
15	試験返却・解答解説 まとめ		

授業の明細

回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
16	論説文を読む1 「研究者の二つのタイプ」	比較・対象表現を理解し使うことができる 指示語のさす内容を把握し、適切に使うことができる	復習プリント スピーチ原稿の準備
17	作文とスピーチ1 作文の文法―指示詞を使う	指示詞・文脈支持が理解できる 指示詞を使ってスピーチができる	社会的な問題について レポートを書く
18	論説文を読む2 「日本の短詩型文学」	俳句や短歌に見る伝統の「かた」について理解する 俳句・短歌を作ることができる	短歌・俳句を作る 語彙を増やす短文づくり
19	論説文を読む3 「地球温暖化」	原因・結果表現が理解でき、使うことができる 従属節を使った文が作れる	語彙を増やす短文づくり 復習プリント
20	作文とスピーチ3 作文の文法―理由経過を述べる	理由表現を使って書くことができる 時間表現を使って書くことができる 理由・時間表現を使ってスピーチをすることができる	歌舞伎について資料を 読みスピーチ原稿を作る
21	百聞は一見にしかずプロジェクト4 歌舞伎鑑賞	歌舞伎についてスピーチができる 演目について自分の言葉で説明ができる ものづくりにおける伝統と革新について理解する	歌舞伎についてのレ ポートを書く
22	中間試験		
23	論説文を読む4 「風呂場の戸」	位置表現が理解でき、使うことができる 従属節をつかった文が作れる	語彙を増やす短文づくり 復習プリント
24	作文とスピーチ4 作文の文法―接続表現	発音・イントネーションに注意してスピーチができる 接続表現を使った文が作れる	復習プリント
25	論説文を読む5 「手で数を表す」	列挙・順序・接続表現が理解でき、使うことができる 接続表現を使って、文章の要約ができる	語彙を増やす短文づくり 要約練習
26	論説文を読む6 「茶はどのようにして伝わったか」	理由・根拠表現が理解でき、使うことができる 接続表現を使って文章の要約ができる	語彙を増やす短文づくり 要約練習
27	論説文を読む7 「た」と「はたけ」	意見表現が理解でき、適切に使うことができる 文章の要約ができる	語彙を増やす短文づくり 要約練習
28	論説文を読む8 新聞記事から	記事の要約ができ、意見文を書くことができる	要約練習 スピーチ原稿を用意する
29	作文とスピーチ5 作文の文法―文末表現 授業改善アンケートの実施	構成に注意してスピーチができる 意見と事実を組み合わせるとスピーチができる	
学年末試験			
30	百聞は一見にしかずプロジェクト5 萩で江戸を体感する	自己開示し、情報を収集することができる 体感したことから、事実と意見を区別してスピーチできる 学習のまとめ	
総授業時間数			